

旅

楽しい旅行



ひざに関するアンケートのお願い

ご回答でサントリー商品
約1カ月分

※抽選で1万名様

Yahoo!ブログからのお知らせ

【重要】編集・投稿機能およびアクセス解析の機能を停止いたしました。

ブログ移行に関するよくあるお問い合わせ



na1430

男性 / O型

人気度 ☆



友だち

[友だち登録する](#)

ゲストブック

[すべての記事](#)(49)

[画像一覧](#)

無題

投票

スマートフォンで見る



スマートフォン版Yahoo!ブログにアクセス！

2019		10月				
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

全体表示

[リスト](#) | [詳細](#)

[介護職のハローワーク求人が多数](#) [kaigoagent.com](#)

今すぐ転職可能、非公開求人多数！高収入、土日休み、残業無しなど求人多数

Ads by Yahoo! JAPAN

[タイトル](#) ▾

全10ページ [\[1\]](#) [\[2\]](#) [\[3\]](#) [\[4\]](#) [\[5\]](#) [\[6\]](#) [\[7\]](#) [\[8\]](#) [\[9\]](#) [\[10\]](#)

[\[次のページ\]](#)

ヨーロッパ3大北壁アイガー峰

[クリップ追加](#)

2016/3/30(水) 午後 4:34

無題

[練習用](#)

[シェア](#) [ツイート](#)



ユングフラウ鉄道乗車記念パスポートより転写

アルプス4大名峰をめぐる美しきスイス8日間のツアーは、最初の宿泊地サンモリッツでピッツ・ペルニナを観光し、翌日氷河特急に乗ってツエルマットに移動した。ここでは登山列車でゴルナーグラート展望台に上がり、若干天候には恵まれなかったが、マッターホルン、アルプス第2の高峰モンテローザを眺め、楽しんだ。

ツエルマットで2泊し、翌日早期フランスのシャモニーに向かった。到着後ローブウエイで今回旅行の最標高地点展望台、エギーユ・デュ・ミディーに上り、アルプス最高峰モンブラン、アルプス3大北壁の1つ、グランド・ジョラスを眺めることができた。下山後3番目の宿泊地インターラーケンに向かった。

今回のツアーでもっとも行ってみたいかった展望台はスヒンクス展望台であった。
アイガーの北壁をこの目で見たかった。



NHKグレートサミッツ テレビ番組 アイガー編より転写

最新のコメント

- [ブログ読ませて頂いたので足跡代わりにコメント...](#)
- [コメントさせていただいちゃいました\(*^...](#)
- [コメントしちゃっていいですか♪ 私はあま...](#)
- [初めましてになります。なのでコメントも...](#)
- [きれいですね♪6年前にモレーン湖とコロ...](#)

...

[すべて表示](#)

訪問者履歴

ブログリンク

Yahoo!からのお知らせ

・[初めての方へ](#)

開設日: 2010/2/18(木)

**介護職の好条件・
レア求人が多数!**

カイコジョブ

有料老人ホーム 月給 20万円 〜 正社員☆無資格OK☆ 詳しくはこちら!	デイサービス 月給 26万円 〜 土・日・祝日休み 詳しくはこちら!
訪問介護 時給 1,330円 〜 週2勤務可 詳しくはこちら!	グループホーム 年収 400万円 〜 長期休暇あり 詳しくはこちら!

よしもとブログランキング

もっと見る



小川菜摘



浅香あき恵



NON STYLE ...

**よしもと
人気ブログをみよう!**

YAHOO! 天気・災害
JAPAN
気なる場所の天気や雨雲レーダーをチェックしよう!

[Yahoo!ブログアクセス解析はマイページから](#)

[ブログを書いてTポイントを山分け!](#)

[アフィリエイトブログを始めよう!](#)

**介護職の好条件・
レア求人が多数!**

カイコジョブ

有料老人ホーム 月給 20万円 〜 正社員☆無資格OK☆ 詳しくはこちら!	デイサービス 月給 26万円 〜 土・日・祝日休み 詳しくはこちら!
訪問介護 時給 1,330円 〜 週2勤務可 詳しくはこちら!	グループホーム 年収 400万円 〜 長期休暇あり 詳しくはこちら!

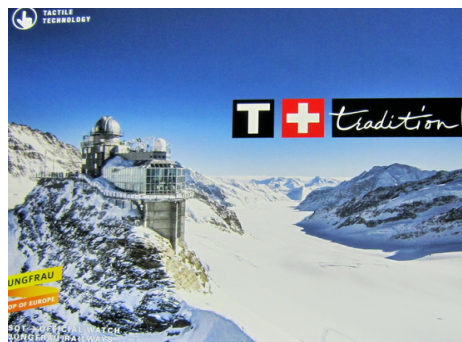


NHKテレビ番組 グレートサミッツテレビ画像より転写 アイガーの郷 アイガーは右の山



NHKテレビ番組 グレートサミッツテレビ画像 アイガーの郷 中央左側の壁 北壁

今回最後となったアルプス名峰群はユングフラウ観光である。以下はその順末である。
翌朝ユングフラウ駅よりユングフラウ鉄道でヨーロッパ最高地点の駅ユングフラウヨッホ(3454m)に向かった。途中駅で2回乗り継ぎがあった。
この鉄道は3社の鉄道により、最終駅ユングフラウヨッホまで運行されている。線路はプラットホームを挟んで区分されていた。
ホテルを出るとき小雨模様であった。今日の観光はハイキングがあり、ハイキングは在住の日本人ガイドが同行する予定であり、ガイドの情報では、最終駅ユングフラウヨッホ(地下)とスヒンクス展望台(3571m)は地下で結ばれているが、外は雪で展望台では屋外に出ることはできない。と
言うことは視界は0で、期待したユングフラウ、メンヒ、アイガーは見ることができないということであった。
天候の回復を祈る気持ちで、登山電車に乗り込んだ。



スフィンクス展望台(3571m)案内板から転写
スフィンクス展望台(写真)地下がヨーロッパ最高地点ユングフラウヨッホ駅(3454m)



スフィンクス展望台最上階エレベーター乗降口近くに今は懐かしい郵便ポストが・・・
スフィンクス展望台での集合場所に都合がよかったが、実際に絵葉書など投函できたのかどうか未確認。

トップの写真はユングフラウ鉄道乗車記念パスポートから転写した。写真中央の最上段に赤枠に白抜き文字でJungfrau Top of Europeと表示されているが、そこから赤い点線でUを横にしたように引かれている。点線を追うと黒い文字でEigergletschr(アイガーグレッチャー)までが地下トンネルである。

鉄道はアイガー中腹あたりから2か所に駅(地下)があり(写真上赤の点線の中に赤丸がある。終点駅を含めて3個ある。)、それぞれ5分間停車する。降りると地下道の突き当り付近に窓があり外部が見える。見えるのは氷河であり、見るだけに終わったが、NHKが放送したグレートサミッツ アイガー編を見ると救難用の出入りのほかに、アイガーの登山者が出入りをしていた。救助隊、特定された登山ガイドのみが開閉できるようであった。

ユングフラウヨッホ駅に到着し、展望台に上ったが、外部への出入り口は閉鎖されていた。展望台の中(地下)を歩いてみたが、興味の引くものがないため(氷像の展示室はあったが。)団体の集合場所に近いレストランなどで時間をつぶした。

帰りは途中駅アイガーグレッチャーで電車を降りた。ここから次の駅クライネシャイデックまでをハイキングする予定であったが、外はみぞれ状の雪が降り続き、ハイキングガイドは、下り一方のコースなので滑る危険があるため、登山靴以外は無理と言うことで、厚底のハイキングに適した靴を履いていたが、ハイキング不可組に入り、ツアー参加者は丁度半々に分かれ、電車を1駅乗り、ハイキング組の到着を待って合流した。

この後は、駅近くのレストランで昼食後、再び電車を乗り継ぎ、ホテルに帰還した。

この日の1日はなんであったか、地下トンネル駅、など記憶に残る物があったものの、ともかく1日は終わった。

この日の夜は自由行動と言うことで、添乗員に案内してもらい、アルプスホルン、ヨーデルなどのショーがあり、夕食を取りながら鑑賞した。

ショーの入場者の半分ほどは中国人観光客が占め、今さらながら驚きもした。

ユングフラウ観光に思い入れが深かったのは、NHKテレビで放送された、「グレートサミッツ」の番組である。1時間30分番組で世界の名峰をNHKディレクターが現地ガイドの案内で登頂する記録番組である。放送されたうちの8割ぐらい録画し、BDにダビングしてある本数が29本ある。

このうちアルプスはモンブラン、マッターホルン、ベルニナ、アイガーとオーストリアのグロース・ブロックナーである。今回の旅行はグロース・ブロックナーを除く4つの名峰が見られる旅であった。ベルニナは頂上が雲に隠れていたが、その環境は眺められた。マッターホルン、モンブランはすでにアップしている。

残る名峰が、人気のあるアイガーであったが、実情はすべて詳述したとおりである。

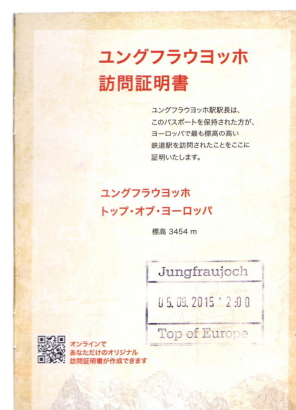
アイガーについては全く記録に残るものがないので、NHKの番組テレビ画像の写真をアップし、公開したいと思う。日本人の登山家も、アルプス3大北壁の1つである、アイガーに登頂している。その登頂ルートも写真にしてアップした。
テレビの画像をカメラでとらえたものであり、粗悪な写真であることご容赦いただきたい。



NHKグレートサミッツ アイガー編テレビ画像より転写 ユングフラウの郷
ユングフラウ観光では主峰ユングフラウ メンヒ アイガー3山が特に著名 写真は右からユングフラウ(4158m)
メンヒ(4107m) アイガー(3970m)



NHKグレートサミッツ アイガー編テレビ画像から転写
日本の登山家が試みたアイガー北壁の登攀ルート



ユングフラウ鉄道が発行した乗車記念バスポート
JUNGFRAU TOP OF EUROPE

> [Yahoo!サービス](#) > [Yahoo!ブログ](#) > 練習用

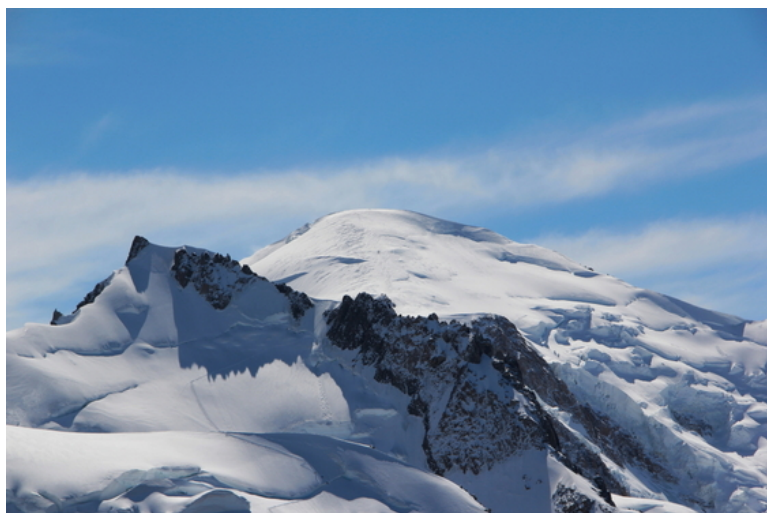
[コメント\(0\)](#)
[トラックバック\(0\)](#)

西ヨーロッパ最高峰モンブランとエギーユ・デュ・ミディ展望台

クリップ追加

2016/3/28(月) 午後 5:48 無題 練習用

[シェア](#) [ツイート](#)



西ヨーロッパ最高峰モンブラン

アルプス4大名峰をめぐる大自然紀行4日目はフランスのスキーのメッカ、シャモニー・モンブランへの移動である。

2連泊したツエルマットから、電車でテーシュまで1駅乗り、そこからバスによりフランス シャモニーへ向かった。ツエルマットはバスなど電気自動車以外は乗り入れできないための手段である。シャモニーには11時半を過ぎて到着した。



スイス国境を越ると、フランスアルプスの山脈が目に入る。モンブランである。

シャモニーの正確な地名はシャモニー・モンブランである。シャモニーは第一回の冬季オリンピック開催地である。また、この街はアルプス最高峰であるモンブラン(4810m)のフランス側からの登山基地であり、シャモニーの平常の人口は1万人であるが夏季シーズンは10倍10万に達すると言う。

予約時間に早めの到着であったので、若干の付近を散策し、昼食を摂った。



シャモニーのレストラン街 狭い谷あいになり、建物の背後は道路を挟みアルプスの急峻な山々が待ち受ける



客席の傍らでチーズに電熱板をあて、溶け次第客席に運ばれる

2～3年ぐらい前だったように思うが、NHKのBSで「グレートサミッツ」と言うタイトルで世界各地の著名な名峰を、現地プロのガイドと、NHKのスタッフによる登頂記録番組があった。1時間30分番組で、放送された80%ぐらいの番組をBDに録画ダビングし所有している。

アルプスではモンブラン、マッターホルン、アイガー、ベルニナ、とオーストリアのブロックナーが放送された。今回の旅行に際し、モンブラン、マッターホルン、アイガー、ベルニナを見直して出かけたが、アイガーとベルニナは雲の中で見る事が出来なかった。特にアイガーはアルプス3大北壁の1つで、撮影したかったが...



NHKグレート サミッツ 放送番組より 写真最下段モンブラン頂上よりイタリア側アルプス



NHKグレート サミッツ 放送番組より シャモニーよりモンブラン登山ルート

3大北壁の1つ、グランド・ジョラス(4208m)はアルプス山脈モンブラン山塊に属し、6つの峰からなり、写真左が最高峰ウォーカー峰である。
この山が展望台からほぼ正面にあり、北壁が目に見える。

モンブラン(4810m 写真は前掲)はグランドジョラスと展望台を挟んで、後方に連なり、山頂は丸く常に真っ白である。(ケーキのモンブランの名称はここからつけられたのかもしれない。)
欲を言ってはいけませんがもう少し空が青ければ、遠くにスイス モンテローザなどの山々の峰がはっきり見えたかも知れない。

モンブラン、グランドジョラスはフランスと、イタリアの国境にまたがり、添乗員はバスの中でシャモニーから登山をはじめ頂上に立つまでは、「ボンジュール」と挨拶し、頂上を超えたら「ボンジョルノ」と挨拶をしますと言ったが、こんな戯言で大笑いをしたのも旅の思い出になった。

グランドジョラスは左からウォーカー峰 4208m ウインバー峰 4184m クロ峰 4110m エレーヌ峰 4045m マグルリット峰 4066m ヤング 3996m である。
グランドジョラスは6峰の総称で、主峰はウォーカー峰。アルプス3大北壁はウォーカー峰の北壁で眼前に見える。

添乗員の話の中で、3大北壁はいずれも日本人登山家による登攀記録がされていると言う。また、専門的な話はさておいて、3大北壁の知名度はマッターホルン(4478m)、アイガー(3970m)は危険、グランドジョラス ウォーカー峰の北壁は困難と言われていると言う。



グランドジョラスは6峰からなり3大北壁は左主峰ウォーカー峰

この展望台から見える山々は急峻であり、見るからに日本の山々とは異なる。私の住む信州は高い山々が連なり、部分的には急峻な山々も見られるが、その規模は全く異なるように思う。
現在の北アルプスの登山口、上高地でウエスタン祭が毎年催され、山開きが行われる。
明治時代上高地を世界に紹介し、日本近代登山の父と言われる、英国人宣教師ウエルター・ウエ

ストンをを偲んで行われるものである。

現在の北アルプスを、ヨーロッパのアルプスに似ていることを紹介し、日本アルプスと呼称した。信州ではアルプスの名称を使うことが多く、親しまれる所以なのであろう。

エギーユ・デュ・ミディ展望台についてももう少し詳述しておきたい。

展望台は日本の富士山より高い3842mの針峰2本のエギーユ・デュ・ミディの頂上、針峰の先端を被せるように建設されている。つまり大小2本の鉛筆を立て、それぞれキャップを被せ、その先端、平らな部分が展望台になっているイメージである。

シャモニーの街から、2本のロープウェイを乗り継ぎ展望台に上ることができる。この展望台に上るのは今回が2度目で15年ぶりであった。

入口を進むとレストラン、売店があり、その階上が低い方の展望台である。

前は高い方の展望台への連絡路が工事中で、上れなかった。高さは30～40mの差で、残念な思いがあった。

入口右側通路からトンネルを抜け、短い橋を渡って、再びトンネルに入るとエレベーター乗降口があり、上がりきるとそこが高い方の展望台であった。

今回3842mの展望台からの景観は、高さ以上の差があったように思う。



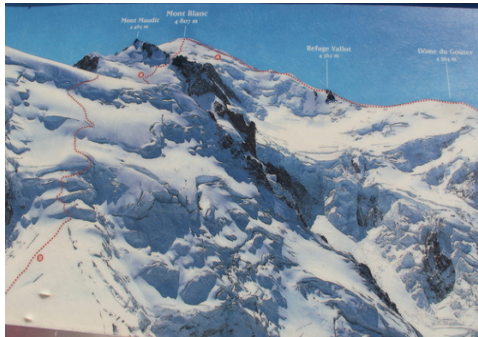
右下は低い方の展望台である。針峰の峰が覆いかぶさされている。



眼下の谷底はシャモニーの街である。シャモニーの標高は1036m 標高差2806m



展望台からスイス方面の見晴らし。アルプスの山々と氷河

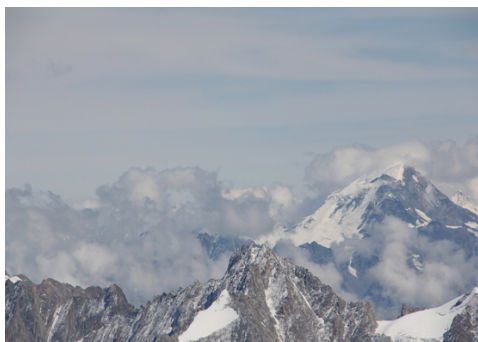


展望台に掲げられている案内板より モンブラン登山ルート



展望台の案内板より

エギーユ・デュ・ミディ展望台からスイス側パノラマ写真にはゴルナーグラーツ展望台で見た山々のうち最高峰モンテローザが条件がそろえば見えるようであるが、この日は分からなかった。(うっすら見えていたかもしれない。) 中間ぐらいのところに、グラン・コンバン山(4317m)が見えていた。グラン・コンバン山はスイス中部フリス・アルプス山群にあり、4000m以上の3峰からなる。添乗員からの話でアルプスの高峰としては比較的容易で、登山者が多いと言われる。実際には近くで眺めたわけではないので、周囲の状況等は分からない。写真は135mズームで捉えたもので、アルプスらしい写真にはなった。



グラン・コンバン(Grand-Knmbin 4317m)山

> [Yahoo!サービス](#) > [Yahoo!ブログ](#) > [練習用](#)

[コメント\(0\)](#)

[トラックバック\(0\)](#)

憧れのマッターホルン

クリップ追加

2016/3/25(金) 午後 4:23

無題

練習用

[シェア](#)

[ツイート](#)



マッターホルン北壁を望む

スイス観光3日目は今回旅行の、メイン観光である。

前日マッターホルンの街ツェルマットに到着し、町中からマッターホルンの姿が見えるかと思い、日が暮れるまでじっと眺めたが、マッターホルンにかかった雲は消えなかった。

当日朝になっても天候は回復しない。合流する予定の日本人女性ガイドに当日の天候を調べてもらい、その結果では次第に回復に向かうとのことであった。日本人ガイドは学生時代からアルプスに魅せられ、登山するうちにスイス人登山家と結ばれ、幼い子供が2人いるとかで、アルプス登山歴は長いらしい。

ツェルマット駅からゴルナーグラート鉄道登山列車に乗って、ゴルナーグラート展望台に向かった。乗車時間は35分弱。急坂を上る、アプト式電車で、ギリギリ歯車を噛む音が聞こえる。ゴルナーグラート駅に到着するとそこはゴルナーグラート展望台である。標高は3089m。展望台にはホテル、記念館、その他施設が存在するが、360度アルプスの山々を見渡することができる。

お目当ては右にマッターホルン(4478m)、左にアルプス第2の高峰モンテローザ(4634m)、その間にLiskam(4527m)、Castor(4228m)、Polluk(4092m)、Breithorn(4164m)などの山脈(やまなみ)である。

しかしツェルマットのホテルを出る頃は山脈(やまなみ)は雲の中であったが、展望台に到着したころのマッターホルンはまだ雲海から峰が顔を出し始めた頃であった。次第にマッターホルンの姿が現れ始め、すべてが現れることはなかったが、その姿には満足でき堪能した。

アルプスには3大北壁と呼ばれる名峰がある。その1つはマッターホルンであることは間違いないが、マッターホルンには北壁と東壁があるという。写真で見るとかぎりでは正面の壁が東壁かと思うが、とすれば写真の右が北壁であるが、何かの機会に確認することにする。ちなみに3大北壁とは、明日観光予定のグランドジョラスと翌々日観光するアイガーである。



ゴルナーグラート駅(線路脇に下車するのだが)を降り、展望台施設入口付近に

アルプスの最高峰は翌日向かうフランスとイタリアに跨るモンブランであるが、第二の高峰はモンテローザ(4634m)で、登山ガイドによるとスイス国民には人気のある山であると言う。ガイド自身も1週間ほど前に登頂したと言う。高山でありながら、比較的登山し易いような口ぶりであったが、それは登山家の話としておきたい。

モンテローザを右に見て、グレンツェ氷河を挟んで、東西峰からなるリスカム(Liskamm 4527m)である。リスカムはアルプス第4の高峰である。

勇壮な姿は写真でご覧いただきたい。なおリスカム峰の右に若干峰が見えるのはカストール峰である。



モンテローザ 左下はゴルナー氷河



モンテローザとグレンツェ氷河を挟んでリスカム峰(東西峰)

展望台には1時間ほど周囲のアルプスの山脈を眺め観賞し、登山列車の駅に向かった。途中リッフェルアルプ駅で下車し、「カラマツ香るグルン湖往復コース」第一のハイキングである。

歩行距離は往復5kmぐらいであるが、最高地点との高低差は89mある。

最初は初級コースで、抵抗感はなかったが、歩き始め最高地点近くまで歩いたが、道はガレ場の坂道で、かなり消耗してしまい、今後の旅行日程に支障をきたす恐れを感じ、残念ながら山小屋がある地点で、リタイアし、本隊に戻るまで休憩した。合流後、再びリッフェルアルプ駅から登山列車でツエルマットに戻り、この日の観光を終えた。

ツエルマットの街は電気自動車しか走れないので駅から宿泊ホテルまで歩いた。時間にして7～8分位のものであり、苦痛に感じることもなかった。

ホテルの横を4～5m幅の川が流れているが、水は真っ白と言うか乳白色であった。マッターホルン付近の氷河から流れてきているとのことであったが、かなり濃い乳白色に感じた。

数年前、カナディアン ロッキーを旅行をした際、氷河からの流れ出た川を、至る所で見ているが、もう少し薄かったように思った。



ツエルマットの街のホテル等はこのような形の建物であった。写真は宿泊ホテル

ツエルマットのホテルは一様に一定の方向を向いて建てられている。その方向はマッターホルンの街であり、早朝客室の窓からマッターホルンが見えるように建てられている。今回宿泊したホテルも例外ではなく、マッターホルンの方向を向いていた。

早朝起床を早めカーテンを開けてみたが、雲に覆われていた。連泊したが2日とも同じ景色であった。



写真中央はマッターホルン ホテルの窓から撮影。雲によって全体像が見えない

> [Yahoo!サービス](#) > [Yahoo!ブログ](#) > 練習用

🔥 [コメント\(0\)](#)

🔥 [トラックバック\(0\)](#)

氷河特急とブルカ峠

クリップ追加

2016/3/19(土) 午後 5:24

無題

練習用

[f シェア](#) [ツイート](#)



氷河特急

スイス観光は実質2日目、サンモリッツからツエルマットへの移動日である。ハイライトは氷河特急とブルカ峠(2431m)越えである。

氷河特急はスイス観光の目玉で、山岳リゾート、サンモリッツからツエルマット間を約8時間かけて走る。ライン渓谷、ランドヴァザー橋など車窓から眺めながら走るというものである。平均時速は約35KMで走り、ブルカ峠も車窓から眺められると言うのだが、峠付近はトンネルで結ばれているという。

今回のツアーはブルカ峠を実際に観光するため、途中駅アンデルマットで下車し、貸し切りバスでブルカ峠を観光し、ツエルマットに向かう観光コースを辿ることになっている。

氷河特急は氷河急行とも呼ばれている。双方の名称が使われる理由はわからないが、運行される電車の車体には「EXPRESS」と書かれている。素直に読めば「特急」であり、日本のJTBなど観光パンフレットを見ると氷河特急と書かれている。

ツアーはこの氷河特急1等車食事つきであった。これが日本からのスイス旅行の定番になっている。

そう言えば今回JTBのツアーに選れて申し込んだところ、定員枠があったのでJTBの勤めでキャンセル待ちをした。飛行機、ホテルは入ったもののこの氷河特急の座席指定がどうしても予約が得られず、提携する他社のツアーに潜り込みし旅行が実現した。(前編と一部重複)

車内食については写真をアップしたのでご覧いただくことにする。



スープは記憶がはっきりしないが、コーンだったかもしれない



メイン ディッシュは牛肉であるが添え物は記憶にない



デザートもすでに記憶に残っていない

この日はあいにく雨が降り出したため、車窓から撮影を試みたが、外窓の雨露でほとんど見るに忍びない写真になってしまった。

また、旅行案内書にはライン渓谷や、ランドヴァッサー橋を通過すると記載されていたが、残念ながら見られなかった。

氷河特急は5時間弱乗車し、アンデルマツで下車した。ここからは貸し切りバスに乗りし、ブルカ峠越えで、ツエルマツに向け出発した。このあたりから雨は止み、曇天の中ブルカ峠に到着した。アルプス峰は雲の中で、ローヌ氷河のみの見学に終わった。途中急斜面をSの字を描きながら上ったが、車窓から見降ろす景色は素晴らしい。また遥か下方に出発したアンデルマツの集落が見える。



車窓から景観



車窓からの景観 中央下段に見えるのはブルカ峠ローヌ氷河からの流れ出た河川 河川は乳白濁色

ブルカ峠はスイス ヴァレー州グレッチュとウーリー州レアルファを結ぶ峠で、標高は2431mの高地であり、氷河が現存している。

峠頂上付近に到達すると道路は二股に分かれ、1方には入口にホテルがあり、その先には名は分からないが、その氷河の先端が見えている。

バスはもう1方の道路を道なりに進んだ。そこには駐車場と土産品店があり、土産品の販売のほか、休憩施設関連の営業をしている。また、建物の階上に展望台が設けられており、店内から上ることが出来た。

また、店内の一角に出口があり、この出口を通してローヌ氷河に近づくことが出来たが、中年の女性が陣取っており、料金の徴収が行われていた。金額ははっきり覚えていないが、日本円に換算して600円～700円位だったと思うので、5スイスフランだったかも知れない。

出入り口を通り、氷河の先端まで行って見たが、周囲が薄雲りのため展望台で眺めた景観と変わりが無いので、周囲の写真撮影をして戻った。

ここでヨーロッパで見かけるトイレについて触れてみたい。

ヨーロッパの国々これまでに9か国を旅行しているが、それぞれ程度の差があるが、総じて休憩地、観光地、及び休憩地のトイレ事情が悪い。

多分日本が最高とは言わないまでも、その環境に遭遇して、設置状況、清潔感是最も優れているように思う。

ローマのもっとも有名な観光地にトイレがない。土産品店などで買い物などしてトイレを借りることはしばしばである。各国の事情を上げるときりが無いので打ち切りにするが、スイスにしてしまかである。

今回のスイス旅行では一部電車によったが、長距離の移動はバスであった。観光バスは移動に際し、1～2回ドライブイン、サービスエリア等でのトイレタイムがあるが、その都度トイレ入口に1スイスフランのコインが必要であった。ただし、コイン投入に際しレシートが発行されるが、売店で買い物代金支払い時に、レシート引き換えに代金から差し引かれるシステムであった。

買い物客を優遇するシステムで、ヨーロッパの割り切った考え方がそこにあった。皮肉った言い方をすれば、利用できるシステムがあれば上々ということかもしれない。日本人の「おもてなし」の精神からすれば、受け入れ難い考え方である。

名誉のために付言すれば、今回の旅行はアルプスの鑑賞であった。3000m級のアルプス展望台(サンモリッツで2か所、ツエルマット1か所、フランスシャモニー1か所、インターラーケン1か所)5か所については程度の差こそあれトイレの不安は一切なかった。



ローヌ氷河



ローヌ氷河



峠頂上から見えるもう1つの氷河

ツエルマットのホテルに到着したのはすでに18時30分を過ぎていた。
ツエルマットは町中にガソリン車等が入れない。したがってツエルマットの1つ手前の電車の駅で、
バスを降り電車を1駅乗り、ツエルマット駅からホテルまで7～8分歩いた。スーツケース等は駅か
ら日本の軽トラックの1回り大きい電気自動車で運ばれた。

ホテルは多くの客室の窓が、マッターホルンの方向を向いている。天気良ければくっきり見える
のだが、生憎雲が掛かり全体像が見えない。

翌日がマッターホルンなどの観光日であるが、天気の回復を願いつつ休んだ。

> [Yahoo!サービス](#) > [Yahoo!ブログ](#) > [練習用](#)

 [コメント\(0\)](#)

 [トラックバック\(0\)](#)

アルプス4大名峰をめぐる大自然旅行 美しきスイス ベルニナ・アルプス

クリップ追加

2016/3/14(月) 午前 11:34

無題

練習用

 シェア

 ツイート



ベルニナ・アルプス

7月上旬スイスへ旅行をしたい・・・こんな思いが急に湧いて来た。

スイスへは1昨昨年イタリア旅行をした後、来年はと考えていた。スイス旅行は盛夏に限る。そうこう考えてるうちにその機会を失ってしまった。昨年はスケジュールと重なりこれも断念した。今年(2015年)ようやく実現しようとしたところ、盛夏に集中するスイス旅行の予定していた時季のツアーはすでに満杯、キャンセル待ちをかけたが、見込みが立たないため、提携する他社のツアーに組み入れてもらった。

スイス旅行では時季の遅い8月31日のフライトとなった。

このツアーは往復の航空機はビジネスクラス直行便であったが、他社に比し1日短いこと、時季がずれたことにより比較的格安費用であった。

スイス旅行はアルプスの名峰を巡る観光ツアーである。アルプスの主な名峰は4か所に集中している。ベルニナ・アルプス(ディアボレッツァ展望台2984m)、ゴルナーグラート展望台(3089m)、エギーユ・ドゥ・ミディ展望台(3842m)、スヒンクス展望台(3571m)である。

成田空港8月31日10:25離陸、現地時間同日16時ごろチューリヒ空港に着陸した。最初の観光地はエンガディン地方のアルプス4大名峰ベルニナ・アルプス観光に向けサンモリッツに向かった。205キロバスの長旅である。ホテルには到着した時間はすでに19時を回っていた。



ピッツベルニナ・アルプス パンフレットから複写

アルプス4大名峰をめぐる大自然紀行の初日は、サンモリッツ駅からレーティッシュ鉄道ベルニナ線電車で、ディアボレッツァに向かった。天気は晴れてはいるがロープウェイで標高2984mのディアボレッツァ展望台に上るため、やや不安があった。予感はお目当ての主峰ピッツ・ベルニナ(4049m)は雲のカーテンに包まれていた。朝から雨の心配ない天候だったが、主峰ピッツベルニナ(4049m)峰は、モルテラッチ氷河を挟む尾根の右隣チェルヴァ氷河の先端に聳える名峰であるが、厚い雲で見えなかったのが残念であった。

4000m級の高峰に連なるモルテラッチ氷河には感動をした。



中央左 モルテラッチ氷河 右側氷河はチェルヴァ氷河 ピッツベルニナはその先端

前掲写真はピッツ・ベルニナのパンフのコピーである。中央がピッツ・ベルニナで写真とほぼ同一になるようトリミングしてある。左下はモルテラッチ氷河、主峰の左がチェルヴァ氷河である。

ピッツ・ベルニナはアルプス最高と称される、ピアンコグラート(白き尾根)がある。数年前になるがNHKが放映したグレートサミッツで女性ディレクター(高橋亜矢女史)が地元山岳ガイドと、ピアンコグラートからベルニナシャルテ(岩山)を登っている。

ピアンコグラートは高低差500mあり、テレビで見ると正3角形の頂点を雪と氷を踏みしめての登攀であった。

撮影スタッフ隊は画像には表れないが大変な苦勞があったと思う。出発前に録画、ダビングしてあったBDを再度見てはいる。だが、実際にピアンコグラートを見たかったが、それは今回の旅行ではかなわなかった。なお、前段のパンフの写真では右側の白い稜線がピアンコグラートである。

下段にテレビで放映された画像の中にピアンコグラートの美しい姿が映し出されていたので、アップしました。



ピッツ ベルニナのピアンコグラート グレート サミッツ テレビ画像より

サンモリッツ駅と街の中心街は巡回バスが走っている。ホテルは中心街から続く居住地街近くにあり、近くのパス停まで歩いたが、僅かな待ち時間にバス停付近を撮影した。その中に道路を跨いでロープ状の物が張られ、一瞬カメラかと思ったが、どうも街燈らしい。珍しい一枚のショットになった。



サンモリッツ パス停付近の風景

バス停付近あたりから、有名人が出店しており、街の中心街だったように思う。ホテルも軒を連ねていたが、規模は左程ではなかったように記憶している。バスは5～6分の乗車時間だったように思うが、サンモリッツ駅の前面やや高台に大きなホテルがあった。



右側がサンモリッツ駅舎 左大きなホテル(ホテル ラ・マーニャ)

スイスの地図を見ると、縦横に電車が走っている。レーティッシュ鉄道ベルニャ線もその1つであるが、山岳地帯に入り急坂路に入ると、レールの真ん中に幅10センチぐらいのギアのついたレールが敷設されている。急坂路を上下するときにギアをかみ合わせ走る。よく聞いているとかみ合わせ音が聞こえる。

かつて信越線の群馬県と長野県の間に碓氷峠があり26のトンネルを通過する際レールの間にギアが敷設されていた。アプト式レールである。現存する1つに箱根電車で、実際に乗ったことはないが、現在も機能していると聞いている。

スイスでは山間地を縦横に走る登山電車はほとんどがこの方式である。当然ながら急坂路線に差し掛かるとギアを噛み、低速になるのは必然。時速10kmぐらい。超低速である。

ディアボレッツァ展望台より下り、再びベルニャ線電車でサンモリッツに戻り、ケーブルカーからロープウェイを乗り継いでピッツネイル展望台に上った。ピッツネイル展望台はピッツベルニャの山々と谷を挟んで反対側に当たり、主峰ピッツネイル(3057m)はピッツベルニャより、やく1000m高低差がある。ここからはサンモリッツの街に続く湖などの景観が素晴らしいとの触れ込みであったが、午後になって雲が広がり期待外れに終わった。

薄雲の中に山の形が比較的良好とらえた写真があったのでアップした。しかしこれが主峰ピッツネイルであったか、定かではない。

また、この地方の動物では野生の山羊シュタイ・ボックが知られている。展望台ロープウェイ駅近くにシュタインボックのブロンズがあった。この地方で親しまれている動物のようだった。



薄雲の中に姿が見える山がピッツネイルであるかは判然としない



ピッツネイル展望台から谷間を見下ろすシュタインボックのブロンズ

> [Yahoo!サービス](#) > [Yahoo!ブログ](#) > 練習用

[コメント\(0\)](#)

[トラックバック\(0\)](#)

全10ページ [1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [10]

[[次のページ](#)]

有料老人ホーム 月給20万円～ 正社員☆無資格OK☆ 詳しくはこちら！	デイサービス 月給26万円～ 土・日・祝日休み 詳しくはこちら！	訪問介護 時給1,330円～ 週2勤務可 詳しくはこちら！	グループホーム 年収400万円～ 長期休暇あり 詳しくはこちら！	介護職の好条件・ レア求人が多数！ カイゴジョブ
---	--	---	--	--

[韓国の嘘で得した日本人とは？](#) [kamijimayoshiro.jp](#)

朝日新聞は決して伝えない大手メディアを陰で操る黒幕の正体とは

[韓国にバカにされるワケ](#) [worldforecast.jp](#)

慰安婦に徴用工…まかり通るウソの歴史きっかけを作ったのは日本を騙したあの男

[板橋区のジープ新車なら](#) [m019.fivestartoto.jp](#)

納得の新車探しは当店ヘジープ池袋

[銀座 巴里夕顔](#) [www.py-f888.com](#)

新橋で人気グルメ情報をお探しなら

[豊島区のメルセデス・ベンツ新車](#) [m005.sternsumida.jp](#)

当店一押しの車種情報はこちらメルセデス・ベンツ西池袋

[リコーリース介護ファクタリング](#) [www.rl-shukin.jp](#)

ファクタリング／初期審査料0円最短5営業日で資金化／更新料も0円

[有楽町 お好み 88パチパチ](#) [88-web.net](#)

有楽町で人気グルメ情報をお探しなら

Ads by Yahoo! JAPAN

介護職の好条件・ レア求人が多数！ カイゴジョブ	
有料老人ホーム 月給20万円～ 正社員☆無資格OK☆ 詳しくはこちら！	デイサービス 月給26万円～ 土・日・祝日休み 詳しくはこちら！
訪問介護 時給1,330円～ 週2勤務可 詳しくはこちら！	グループホーム 年収400万円～ 長期休暇あり 詳しくはこちら！

介護事業者様へ 事業資金の「ちょっと足りない」に リコーリースがお答えします 国保連からの介護報酬を 約1.5か月早く資金化！ ✓最短 5営業日 で資金化 ✓保証人や担保 不要 訪問看護療養費や障害者自立支援給付費にも RICOH リコーリース株式会社 詳しくはこちら！
--

有料老人ホーム 月給20万円～ 正社員☆無資格OK☆	デイサービス 月給26万円～ 土・日・祝日休み	訪問介護 時給1,330円～ 週2勤務可	グループホーム 年収400万円～ 長期休暇あり	介護職の好条件・ レア求人が多数！ カイゴジョブ
---	--------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------------	--

[PR]お得情報



[くせ・うねりときほぐしセラム](#)
[髪スペシャル美容液](#)
[flatセラムミニをプレゼント](#)



[花王ニベアクリームをお得に購入](#)
[マツモトキヨシで使えるクーポンが](#)
[当たるチャンス！<Yahoo! JAPAN>](#)



[ふるさと納税サイト『さとふる』](#)
[実質2000円で特産品がお手元に](#)
[10/31まで秋の行楽キャンペーン実施中](#)

[その他のキャンペーン](#)